

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふるーる		
○保護者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年12月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年12月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんが自ら行きたいと思える事業所を目指しています。	・「来週も行きたい」と思えるようなプログラムを考えています。 ・お子さんの興味関心のあるものを利用して課題を作ったり、お子さんがやりたいことを適切に他者に伝えたり、お友達に提案する機会をつくるように努めています。	お子さんたちの自主性やアイデアを大切にしながら、今後もお子さんたちが主体的に参加したくなるようプログラムを作っていきます。
2	・毎回クラス終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。 ・お子さんの様子や課題内容など、タイムリーに保護者様にお伝えしながら共通理解が深まるように努めています。 ・あわせて最近のご家庭や学校での様子等を伺う機会にもなっています。	・活動内容については、目的やねらいを伝えながら活動の様子をより具体的にお伝えしてしています。	・より具体的にご説明できるように努めています。 ・保護者様の思いに寄り添い、一緒に考えていけるよう、話しやすい雰囲気、相談しやすい雰囲気を大切にしたいと思います。
3	・自分らしく自立していくことを目指し、お子さんが主体的に参加することをめざしています。	・達成感や成功体験を大切にするようにしています。 ・「今、何をするのか」「次の活動は何か」などお子さんが自分で見通しをもちやすい環境を作っています。	・お子さんが安心できる、安全な環境を常に工夫していきます。 ・職員同士、気がついたことをクラス終了後のミーティングで共有していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・身体を使った運動遊びのプログラムが限られる	・事業所のスペースが限られている	・活動内容や道具、レイアウトを工夫して、できることを実践していきます。
2	・アセスメントのバリエーションが少ない	・アセスメントの重要性を認識し、それぞれのお子さんに合わせたものを行っていますが、さらなるアセスメントの充実を図ることで客観的なお子さんの理解と支援の充実につなげていきたいと思っています。	・心理職を中心に、それぞれのお子さんのニーズにあったフォーマル/インフォーマルアセスメントの充実を図っていきます。
3			